

資料1

第3回企画委員会資料

2024.3.26

目次

○実施計画 P.2

○報告・検討事項 P.21



大阪・関西万博 ～イベント～

淡路花博25周年記念花みどりフェア 実施計画（案）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2024.O.O



目次



HANA
MIDORI
FAIR
2025

1. 全体概要		
(1) 開催概要	5	今回検討
(2) 推進体制	6	
(3) マスコットキャラクター	8	
(4) これまでの歩み	9	基本計画から 変更なし
(5) 淡路島を取り巻く環境の変化とフェアの方向性	10	
(6) 開催理念と開催テーマ	11	
2. 展示・行催事計画		
(1) 展示・行催事計画の基本的な考え方	13	今回検討
(2) 展示・行催事計画（主なもの）		
(3) メイン会場		
① 淡路会場 主な行催事	16	
② 洲本会場 主な行催事	17	
③ 南あわじ会場 主な行催事	18	
(4) サテライト会場	19	
3. 各会場へのアクセス		
4. 駐車場計画		
5. 広報計画		第4回 企画委員会で 検討
(1) 広報計画の基本的な考え方		
6. 協賛・収益計画		
(1) 協賛・収益計画の基本的な考え方		
7. 推進スケジュール		



HANA
MIDORI
FAIR
2025

1. 全体概要

開催趣旨

- 2025年は、私たちの身近にある花やみどりを愛し、育てることを通じて「人と自然のコミュニケーション」の望ましいあり方を追求し、地球環境の保全と創造に寄与することを願って開催した国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000」（淡路花博）から25年の節目を迎える。
- 淡路花博の開催から四半世紀が経過し、気候変動に伴う災害の激甚化といった地球規模の環境問題が顕在化する一方で、世界的なSDGsへの関心の高まりや、コロナ禍をきっかけとした淡路への企業・人材の流入等、淡路島を取り巻く環境は変化している。
- また、2025年には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに大阪・関西万博が開催される。国内外からの多くの来場者に淡路の魅力を知ってもらえる絶好の機会でもあり、花みどりフェア2025をプレイベントとして位置づけ、地域をあげて機運を醸成する。
- これらを踏まえ、これまで育み、蓄積してきた人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして継承・発展させるとともに、万博の機会を捉えて国内外に効果的に発信していく。「見て楽しむ」だけでなく、その良さを「生で感じてもらう」体験型のイベントを取り入れるなど、「来て・見て・体験」することで、人と自然の持続的な共生のあり方を学ぶきっかけづくりとする。

開催テーマ

自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島

マスコットキャラクター

「ジャパンフローラ2000」のマスコットキャラクター
「ユメハッチ」を活用（永田萌先生と調整）

▶P.21の通り



ゆめはっち

開催概要

名称	淡路花博25周年記念 花みどりフェア（愛称 淡路花みどりフェア2025）
期間	令和7年3月20日（木・祝）～4月27日（日）〔39日間〕
メイン会場	島内3市 ①淡路会場(淡路夢舞台、国営明石海峡公園) ②洲本会場(洲本市中心市街地) ③南あわじ会場(淡路ファームパーク イングランドの丘)
主催	淡路花博25周年記念事業実行委員会

淡路花博25周年記念事業実行委員会（78団体）

名誉会長

兵庫県知事

委員長

（一財）淡路島くふうみ協会理事長

委員

あわじオープンガーデン実行委員会会長

淡路おみなの会会長

あわじ環境未来島構想推進協議会会長

淡路交通（株）代表取締役社長

淡路市商工会会長

淡路市長

（一社）淡路島観光協会会長

（一財）淡路島くふうみ協会副理事長

淡路島水産加工業協同組合代表理事組合長

あわじ島農業協同組合代表理事組合長

淡路島酪農農業協同組合代表理事組合長

淡路消費者団体連絡協議会会長

（一社）淡路水交會会長

（一社）淡路青年会議所理事長

淡路造園緑化組合組合長

淡路畜産農業協同組合連合会代表理事会長

淡路地区連合自治会会長

淡路日の出農業協同組合代表理事組合長

淡路ふるさと塾塾頭

淡路ブロックいずみ会連絡協議会会長

特定非営利活動法人あわじ緑花協会理事長

伊弉諾神宮宮司

「環境立島淡路」島民会議会長

関西エアポート（株）代表取締役社長CEO

（一財）関西観光本部専務理事

郷土振興調査会代表会長

（一財）神戸観光局専務理事

神戸旅客船協会会長

国際ソロプチミスト淡路会長

国土交通省近畿地方整備局建政部部長

五色町商工会会長

（株）サンテレビジョン代表取締役社長

山陽電気鉄道（株）取締役常務執行役員鉄道事業本部長

神姫バス（株）代表取締役社長

洲本温泉観光旅館連盟「女将の会」会長

洲本市消費者協会会長

洲本市長

洲本商工会議所会頭

生活研究グループ北淡路つたの会会長

全国農業協同組合連合会兵庫県本部県本部長

認定特定非営利活動法人ソーシャルデザインセンター淡路理事長

西日本ジェイアールバス（株）代表取締役社長

西日本旅客鉄道（株）理事近畿統括本部副本部長近畿統括本部兵庫支社長

（一社）日本造園建設業協会兵庫県支部長

日本放送協会神戸放送局局長

（一社）日本旅行業協会関西支部兵庫地区委員会委員長

（公社）ひょうご観光本部理事長

兵庫県淡路県民局長

（公財）兵庫県園芸・公園協会理事長

兵庫県花卉協会会長

兵庫県議会議員（淡路市）

兵庫県議会議員（洲本市）

兵庫県議会議員（南あわじ市）

兵庫県教育長

兵庫県漁業協同組合連合会代表理事会長

兵庫県公営企業管理者

兵庫県造園緑化組合連合会会長

（公社）兵庫県畜産協会会長理事

兵庫県農業協同組合中央会代表理事会長

（公社）兵庫県バス協会会長

（公社）兵庫県物産協会会長

兵庫県まちづくり部部長

兵庫県養鶏協会会長理事

兵庫県酪農農業協同組合代表理事組合長

兵庫県立淡路景観園芸学校学長

兵庫県立人と自然の博物館館長

（一社）兵庫県旅行業協会会長

兵庫県旅行業協同組合理事長

ひょうごの美味しい風土拡大協議会会長

本四海峡バス（株）代表取締役社長

本州四国連絡高速道路（株）地域連携部部長

南あわじ市商工会会長

南あわじ市消費者協会会長

南あわじ市長

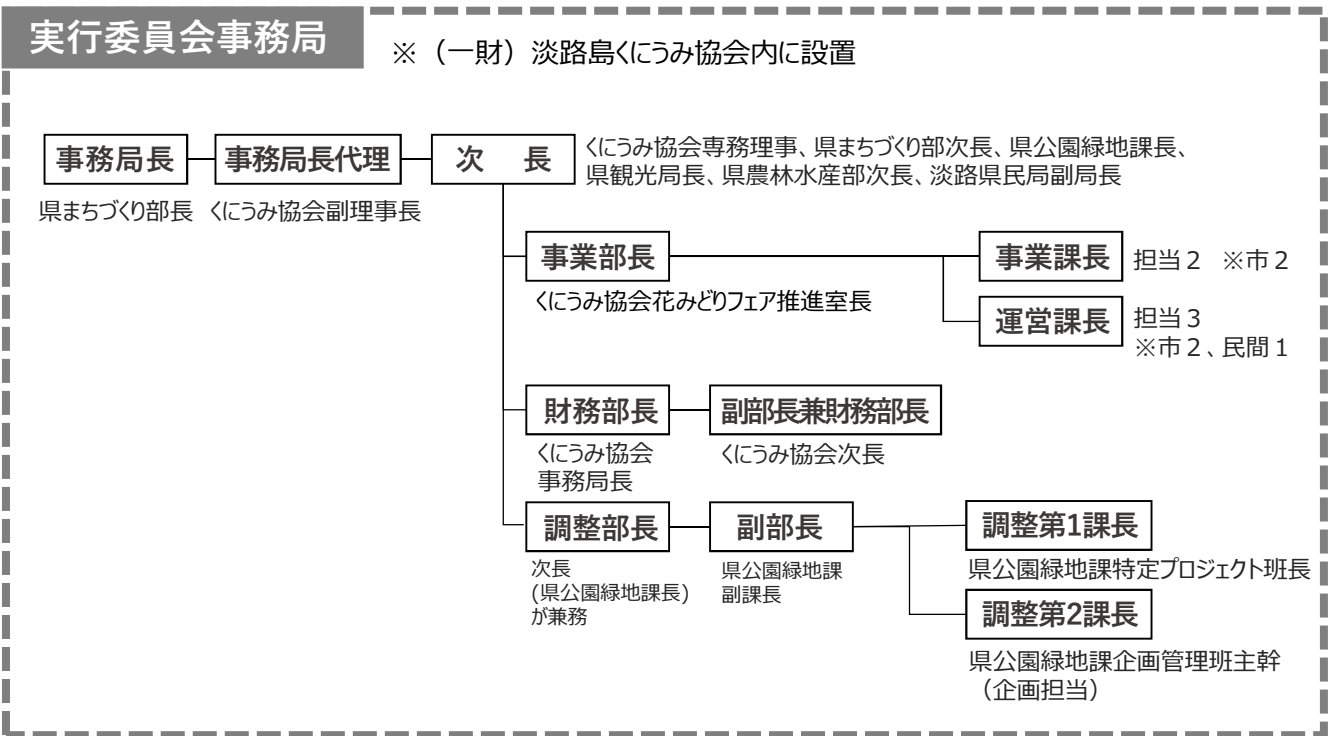
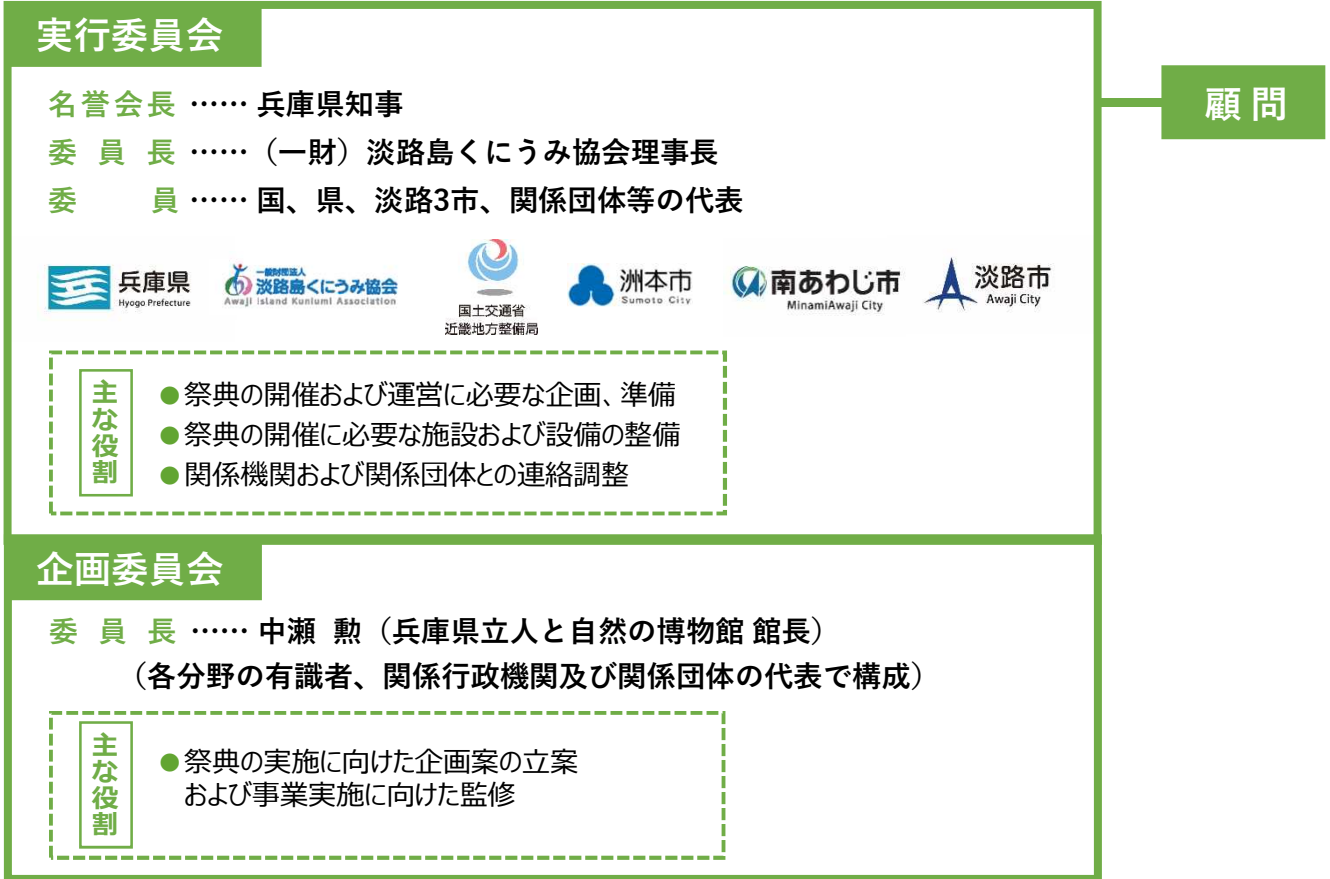
南淡路生活研究グループ連絡協議会会長

（株）夢舞台代表取締役社長

（※50音順）

国、県、淡路3市、関係団体等で構成される淡路花博25周年記念事業実行委員会を設置する。

実行委員会の下に行催事等の検討を行う企画委員会を設置し、関係者の協力により開催準備等に取り組む。



報告事項 1 「ゆめはっち」のデザインについて

▶P.21の通り

国際園芸・造園博 ジャパンフローラ2000（淡路花博）

開催意義

- 緑ゆたかな地球環境の保全と創造
- 阪神・淡路大震災の教訓に学んだ安全で快適な新しい公園緑地の提案
- 花と緑を愛し育てることを通じて人々に喜びと感動を与え、互いに参加・協力しあう心豊かな地域社会づくり
- 園芸・造園の知識と技術を集大成し、成果の展示と新技術の提案を行い、園芸造園産業の発展と国際的な振興をはかる。
- 震災復興のアピールと世界都市・関西の形成への貢献

テーマ

人と自然のコミュニケーション

理念	環境	自然環境の保全・創出・回復・再生
	継承・発展	人と自然の共生の心の継承
	淡路からの発信	淡路島から新しい花みどり文化の発信

淡路花博の理念を継承・発展

淡路花博2010 花みどりフェア

テーマ

人と自然の新たなコラボレーション

理念	環境	地域から取組む新たな地球環境の創造
	継承・発展	人と自然の協働と豊かなところによる新たな共生空間の形成、継承・発展
	淡路からの発信	環境立島「公園島淡路」から新しい花みどり文化の発展

淡路花博2015 花みどりフェア

テーマ

人と自然の共生のステージ

理念	環境	環境の世紀にふさわしい持続可能な社会の実現
	継承・発展	新たな時代の人と自然の共生の継承・発展
	淡路からの発信	全島あげての淡路島の新たな魅力の発信

淡路花博20周年記念 花みどりフェア

テーマ

みなとつながる「花緑食の島」淡路

理念	環境	地域力の発揮による持続可能な社会の実現を先導
	継承・発展	「持続する環境の島」を次の世代へ継承
	淡路からの発信	潜在的な地域の魅力発信と世界との交流

淡路島を取り巻く環境の変化

これまでのレガシーの蓄積

- ジャパンフローラ2000の開催と、その後3回の花みどりフェアを通じて、花博の理念が浸透
- 淡路島においては、**地域住民主体の「花・緑」に関する取組が根付いている。**

SDGsへの関心の高まり

- 国際的にSDGsの機運が向上しており、本県においても、ひょうご産業SDGs推進宣言事業などSDGsを推進している。
- 生物多様性への配慮が世界的潮流となっているなか、世界各地で自生種を活用した修景等も始まっている。
- 淡路島においても、カーボンニュートラルに資する取組等**SDGsを実践**

コロナ禍をきっかけとした淡路への企業・人材の流入

- コロナ禍やデジタル化の進展により、東京一極集中の潮流が変化
- 淡路島に魅力を感じる、**企業・人材の流入**
- 西海岸には近年、多くの観光スポットがオープン

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催

- 令和7年4月から**大阪・関西万博が開催**され、あわせて、淡路全島でAWAJI島博2025が開催される。

フェアの方向性

- ジャパンフローラ2000から四半世紀が経過し、その先導的な取組が地元に着実に定着してきたことから、今回を最後の花みどりフェアとする。
また、最後を飾る企画として、「花と緑」に関連するイベントに主眼を置き、春期のみ重点的に開催する。
- 「人と自然の共生」を目指してこれまで開催したフェアの理念を継承し、持続可能な社会の実現に向けた地域住民主体の「花と緑」の取組を後世に伝える。
また、中でも、国際的なSDGsの機運向上等を踏まえ、淡路島におけるSDGsの取組を積極的にPRする。
- フェアを契機として、さらなる企業や人材の流入に繋げるため、淡路島の地域資源もPRしていく。
- 大阪・関西万博の機運醸成をはかるとともに、国内外から多数の観光客が訪れるこの機会を活かし、本県への来場者を増加させる「ブースター機能」の役割を果たしていく。

【今回で最後のフェアとする理由】

- ジャパンフローラ2000から四半世紀が経過し、その先導的な取組が地元に着実に定着
- ジャパンフローラ2000の収益を活用した基金が減少
- ガーデンツーリズムなど新たなツーリズムの進展
- 花とみどりの楽しみ方が多様化しており、大規模イベントの実施から日常的・継続的な取組へシフト

- 開催理念**
- 【環境】 ……………SDGsに資する取り組みの普及・先導
 - 【継承・発展】 ……………人と自然の持続的な共生のあり方をレガシーとして継承・発展
 - 【淡路からの発信】 …これまで育み、蓄積してきた取組や新たな潮流を国内外に発信

開催テーマ 「自然と生きる、いのちをつなぐ淡路島」

環境 【島に根付いているSDGsに資する取組】		継承・発展 【フェアにおいて目指すもの】
エネルギー バイオマス燃料や間伐材の有効活用 	竹チップ等によるバイオマス燃料等、島内で自然素材を有効活用する取組が進んでいる。 ▶ 限りある資源を有効活用し、 新たな資源・エネルギーとして価値を高めるとともに、自然への負荷を軽減する取組を広めていく。 (例:竹の進出による被害の現状や駆除運動、竹チップポイラーでの活用方策等SDGsの先進的な取組を現物や映像、パネル等で展示)	
農と食 地産地消 	淡路島たまねぎをはじめとしたおいしい野菜や果物をブランド化し、地域住民はもとより国内外の消費者を魅了している。(島内のイベント例:淡路島 島サラダフェア) ▶ 来場される様々な人々に 「淡路島産」の農産物の素晴らしさをPRしていく とともに、エディブルフラワー等の食べ方・育て方等を紹介していく。 (例:エディブルフラワーを原材料とした軽食の提供や寄せ植え体験の実施)	
暮らし	自然 淡路島が持つ花とみどりの魅力を中心とした自然環境の保全・創出 	花とみどりの魅力 を活かし、発展させ、次世代へと引き継いでいる。 ▶ 次代を担う若者へ豊かな自然環境を、さらに引き継いでいく。 (例:あわじ石の寝屋緑地の「いきものたんぼ」等自然保護の取組体験ツアーの実施)
	すまい 自然と共生するライフスタイルの実践 	多彩なアウトドア施設や緑体験コンテンツが開発され、観光客を呼び込んでいる。 ▶ 自然に触れることで得られる「癒やし」や生物多様性への配慮をPRし、自生種による庭造りなど、 花とみどりと共生する暮らしを提案していく。 (例:世界の先進的な自生種による庭園等のパネルに加え、淡路島の自生種や、それらを活用した築庭作業を展示・紹介)
	人 SDGsに資する新たな担い手の萌芽 	我が国の景観園芸の中核人材の育成を先導している。 ▶ これらの芽を1つずつ丁寧に育み、 次代を担う人材を育成していく。 (例:地域の景観園芸リーダー人材育成プログラムの実演や園芸療法の体験)
	しごと 自然を活かした観光産業や地場産業等の発展 	あわじ花さじき等、自然を活かした観光産業、線香や淡路瓦など自然素材を活かした地場産業などが古くから根付いている。 ▶ これらを用いて 淡路島の地域資源や観光資源を効果的にPRしていく。 (例:島内観光施設等をサテライト会場とし、HP、YouTubeでの発信やツアーの企画による体験を実施)

淡路からの発信

これまで育み、蓄積してきた取組や新たな潮流を国内外に発信



HANA
MIDORI
FAIR
2025

2. 展示・行催事計画

淡路の魅力を感じていただく

具体的な取組

- 淡路島の魅力である花と緑を一番のPRポイントとして捉え、**フェア期間中、来島すればいつでも花とみどりが楽しめる環境を構築**する。
 - ▶ 集客の**目玉となる行催事を行う**。
 - ▶ 「見て楽しむ」だけでなく、その**良さを「生で感じてもらう」、体験型のイベントを取り入れる**。
- 「**淡路産**」の農産物について、「食」に加え、**栽植も含めた素晴らしさを体感**いただく行催事を行う。

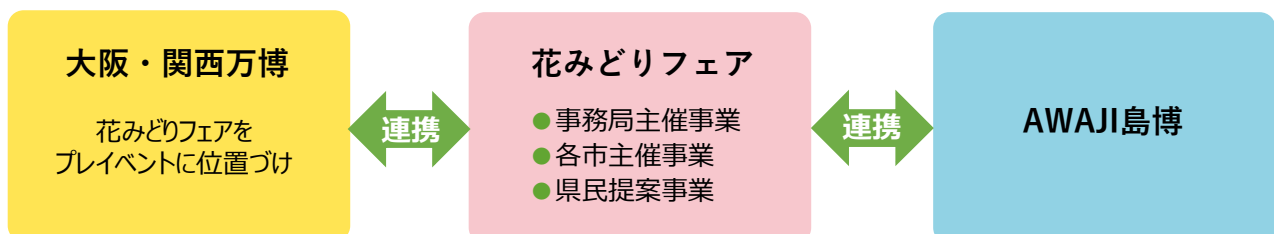
淡路の素晴らしさを磨き上げ、レガシーとして継承していく

具体的な取組

- 自生種を活かした庭づくり等、**花とみどりと共生する暮らしのあり方を提案**していく。
加えて、花とみどりを育て発展させてきた人々の歴史も伝える。
- SDGsに資する展示・行催事を企画・立案・実施する検討過程で地域住民の協力を積極的に得る。
中でも、地域の若者のアイデアを積極的に取り入れ、**次代の魅力ある淡路島を担う人材を育て**ていく。
- 竹チップ等によるバイオマス燃料の活用等、**自然への負荷を軽減する取組を広め**ていく。
- 島内に点在する地域資源を繋ぎ合わせるとともに磨き上げ、**フェア開催後も持続可能な観光資源として仕立て上げる**。

※事務局主催事業の他、各市主催事業、県民提案イベントを実施する

【参考】 同時期に行う他イベントとも連携をはかる



淡路の魅力を感じていただく

花と緑がいつでも楽しめる仕掛け

自然



淡路会場 国営明石海峡公園・淡路夢舞台



春のカーニバル

花みどりフェアに合わせ、約5000㎡と空前の規模で、虹をイメージした多彩なチューリップ花壇を整備(予定)



蘭展(あわじグリーン館)

花みどりフェアにあわせ、協力関係にあるシンガポール植物園より贈られた貴重な蘭の他、多様な色鮮やかな蘭など、花と緑を楽しめる展示

洲本会場 洲本市中心市街地エリア

洲本市においてプロポーザルを実施中

南あわじ会場 淡路ファームパークイングランドの丘



「花とみどりの国(仮称)」

花みどりフェアにあわせ、新たに「花とみどりの国(仮称)」と「ピーターラビットの丘(仮称)」を造成し、新たな誘客スポットとしてレガシーを残す



大花畑

ネモフィラなど、季節によって様々なお花が咲き誇るお花畑。その壮大な景色は圧巻。

目玉行事

淡路の良さを「生で感じてもらう」体験型イベント



花とみどり、動物の織りなす光の共演

壁一面に映し出された映像により、体中、花とみどりに包まれ、「自然と生きる」没入感と、自ら描いた動物の絵に「命」を吹き込み、「命をつなぐ」体験を提供



ロハスフェスタ

淡路島の文化なども楽しみつつ、オーガニックな食材、手作り雑貨などSDGsを体現するLOHAS (lifestyle of health and sustainability「健康的で持続可能なライフスタイル」) を展開



国際シンポジウム

世界遺産「シンガポール植物園」園長等著名な方を招聘し、生物多様性と花・みどりによる地球温暖化対策、今後の修景のトレンドについて、世界に発信



フラワーアレンジメント

淡路島産を中心とした兵庫県産花卉を用いた花のモニュメント展示やフラワーアレンジメント教室により、暮らしに花を取り入れる文化を普及・啓発



線香づくり体験

古くから続く淡路の伝統産業である線香や、香り豊かなお香づくり体験を実施



吹き戻し製作体験

最近医療・介護・美容にも広く利用されており、国内製造80%を占める「吹き戻し」の製作体験を実施

食



「淡路産」の農産物の素晴らしさを体感いただくイベント



スプリングメッセ

いにしえから御食国といわれる食の宝庫「淡路島」をよりいっそう発信するため、淡路島の農水産物等を使用した食イベントを実施



農畜水産物PRイベント(仮)

全国的に有名な淡路島たまねぎなど島の豊富な農畜水産物を、グルメイベントも併催しPR



SHIMA SWEETS Garden 島スイーツガーデン

「淡路島」の自然が育む新鮮な素材(淡路島のフルーツ・牛乳・玉ねぎ・たまご等)をふんだんに使用し、パティシエたちが創る「島スイーツ」を一堂に発信

淡路の素晴らしさを磨き上げ、レガシーとして継承していく

すまい



花とみどりと共生する暮らしの提案



AWAJISHIMA COLLECTION with島くらしフェスタ

淡路産の素材を使用したハンドメイド商品や食品、地元医師による健康セミナー等、淡路島の暮らし方を幅広くPR。「シマコレ」を通じて地域の和を広げ、未来へと繋げる。



アウトドアフェスタ

自然の中で自ら作り、食し、住まう。自然と共生することの素晴らしさを体感してもらうため、アウトドアフェスタを実施。



フィルムオフィス20周年記念展

2005年の設立から20周年を迎える淡路島フィルムオフィスの持つ過去の作品、映像や活動を活用し、淡路島の美しい景観、歴史、人物を紹介

人



次代の魅力ある淡路島を担う人材の育成



景観園芸リーダー 人材育成プログラムの実演 (次案) 園芸療法体験

阪神・淡路大震災の経験から生まれた「園芸を活用した心のケア」を実演・体験することにより、世界に植物を育てる素晴らしさを発信



親子寄せ植え体験

草花に触れ合うことで草花を愛しむ心を育み、生命の尊さを学び、人や生物への優しさに繋がるよう、親子を対象とした寄せ植え体験を実施



淡路自然の庭展

淡路島の自生種を活用した花壇を実演展示。最近の世界のトレンドを紹介するとともに、身近にある草花のよさ・生物多様性を発信

エネルギー



自然負荷を軽減する取組の普及・先導



自然負荷を軽減する取組のパネル展示 ~SDGsを淡路から~

竹材による竹チップボイラーや土壌改良材、炭さらにはメンマまで！竹材をはじめとしたSDGsに資する島内の取組を、それを行う先駆者の苦勞、課題も含めて現物やパネルを展示



放置竹林の竹材を活用した竹アート

島内の放置竹林の竹を活用して竹遊具を作成。島民参加型で、遊具作りから体験まで、一連の流れを楽しんでもらい、竹の良さに触れてもらう。



SDGsワークショップwith浜名湖花博

2024年に開催された浜名湖花博。静岡とインドネシアの子供たちとワークショップを実施したが、花とみどりを活用したSDGsに資する取組を今一度考え、学ぶ、ワークショップを淡路島で実施

しごと



フェア開催後も持続可能な観光資源の磨き上げ



淡路夢舞台ガイドツアー

関西国際空港など大阪湾の人工島を築くため土砂を採取した跡地に誕生した夢舞台。一度は人間が壊した自然を本来の姿にもどし、さまざまな動物や植物と人が共生できる空間を創造してきた歴史を伝えるガイドツアーを実施



淡路瓦ウェルカム花壇

淡路の伝統産業である淡路瓦に色とりどりの花々を添え、淡路瓦の「アート」としてウェルカム花壇を展示



淡路島の土で描くアートイベント

空気中の二酸化炭素を吸って固まる「漆喰壁」。自然素材を活用し、製造・施工時にも二酸化炭素の排出減、ゴミの削減、リサイクルが可能。土のミュージアムSHIDOと連携したアートイベントを実施

1 淡路会場

会場	特徴
国営明石海峡公園	「海辺の園遊空間」をコンセプトに、雄大な花とみどりの空間や池、せせらぎ、小高いテラス、芝生広場、夢っこランド（大型複合施設）等で構成された公園施設。四季折々の花とみどり、憩いと遊びの空間を提供している。
淡路夢舞台	グランドニッコー淡路、百段苑、あわじグリーン館（温室）、野外劇場、国際会議場、展望テラス（レストラン等）等で構成された施設群。宿泊、会議等が可能な他、多彩な植物と演出のある温室は大規模改修（R6.4.1～R7.3.1まで）を行う。



日時	イメージ	行事名	内容
第4回企画委員会で検討			

3 南あわじ会場

会場	特徴
淡路ファームパーク イングランドの丘	イギリスの湖水地方をイメージしたテーマパーク。お花畑ややさい畑、遊びの広場、野外ステージ等を有する「イングランドエリア」と、コアラ館、ワラビー広場、ロックガーデン、植物館等を有する「グリーンヒルエリア」の2つのエリアにより構成されている。

淡路ファームパーク イングランドの丘



日時	イメージ	行事名	内容
第4回企画委員会で検討			

淡路島全体で花みどりフェアの機運を醸成し、その理念を継承するため、メイン会場に加えて島内各施設をサテライト会場として設定し、連携をはかる。





HANA
MIDORI
FAIR
2025

報告・検討事項

報告事項 1 「ゆめはっち」のデザインについて

趣旨

- 「花みどりフェア」は淡路花博（ジャパンフローラ2000）の理念を継承・発展させるために5年ごとに開催してきたが今回で最後の開催となる。
- 今回を新たなステージの始まりの機会と位置付け、地域を挙げて「人と自然の共生」の取組を未来に紡いでいく。
- そのシンボルとして、ジャパンフローラのマスコットキャラクター“ユメハッチ”の進化版として「ゆめはっち」を制作し、今回のフェアのマスコットキャラクターとして起用する。

「ユメハッチ」



- **デザインコンセプト**（公式ガイドブックより）
花と人間とのよい関係を象徴させるものとして、みつばちをイメージした男の子の妖精とし、花を守り育てながら、花から、なぐさめややすらぎ、元気をもらうという思いを形にしています。



「ゆめはっち」



制作の考え方

- 淡路花博(ジャパンフローラ2000)のマスコットキャラクター“ユメハッチ”のかわいらしさを生かしたまま、子供達により親しみやすいキャラクター化を図るため、全体的フォルムに丸みを帯びさせた。
- また、頬にピンクを付け加え、足首への綿毛をつけ足すことにより、表情と全体のアクセントを生み出すことを意識した。
- キーとなるカラーリングは基本的に初代“ユメハッチ”を踏襲した。

報告事項2 開会式・閉会式について

開会式

- ▶日時 2025年3月20日（木・祝）
- ▶場所 淡路会場
- ▶内容
 - 【開会式】
 - ・オープニングアトラクション
 - ・開会の辞（石村委員長）
 - ・名誉会長挨拶（知事）
 - ・来賓等挨拶、紹介（国会議員・市長等）
 - ・テープカット
 - 【国際シンポジウム】
 - テーマ「SDG s 生物多様性のランドスケープ」
 - ・基調講演（シンガポール植物園園長）
 - ・連携協定調印式（知事・シンガポール植物園園長）
 - ・パネルディスカッション
 - コーディネーター：中瀬委員長
 - パネリスト：
 - 柴田学長
 - シンガポール植物園園長
 - その他調整中

閉会式

- ▶日時 2025年4月27日（日）
- ▶場所 淡路会場
- ▶内容 調整中

検討議題 1 ロゴについて

【案】



(バリエーション1)



(バリエーション2：縦型)

【制作の考え方】

- 花と緑をイメージしたピンク・緑、そして淡路島の海をイメージした青の三色をメインに使用
※兵庫県、洲本市、南あわじ市、淡路市のイメージカラーもブルー
- タイトルは視認性の高いゴシック体で表現しながら、春のポップで柔らかな雰囲気表現
- ロゴタイプのバックには淡路島3市の花や木である、カーネーション、水仙、松などを織り交ぜたコラージュで淡路島を表現

検討議題 2 展示・行催事計画（主なもの）について

以下のイベントはないか。

- ①実施内容を修正すべきイベント
- ②追加すべきイベント